

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	グローバル・スタディーズ	
科目基礎情報							
科目番号	1054			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	情報工学科 (2018年度以前入学者)			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	『よくわかるジェンダー・スタディーズ』 (木村涼子他)、『新移民時代－外国人労働者と共に生きる社会へ』 (西日本新聞社)						
担当教員	山岡 健次郎,内田 由理子						
到達目標							
・グローバル化の進展する現代世界を考察するための基本的な視点を身につける。 ・ジェンダー概念の重要性を学び、国境を越えた国際的な諸課題を自分の問題として考える。 ・政治・経済・文化といった諸領域の関係性をグローバルな文脈から読み解いていく。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	グローバル化の進展する現代社会を読み解くための基本的な視座を用いて具体的な問題を考察できる。			グローバル化の進展する現代社会を考察するための基本的な視座が身につけている。		グローバルな現代社会を考察するための基本的な視点に欠ける。	
評価項目2	ジェンダー概念の重要性を理解し、そうした観点から問題を論じることができる。			ジェンダー概念の重要性を理解している。		ジェンダー概念の重要性が理解できていない。	
評価項目3	領域横断的にグローバルな視座を活用できる。			領域横断的なグローバルな視座が身につけている。		グローバルな視座を身につけることができていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	講義形式で授業は行っていくが、重要なトピックに関しては、学生との議論を通して論点の整理を行っていく。また、必要に応じて視聴覚教材も活用していく。学期末試験とその他、適宜レポートなどの提出物を課す。						
授業の進め方・方法	講義形式で授業は行っていくが、重要なトピックに関しては、学生との議論を通して論点の整理を行っていく。また、必要に応じて視聴覚教材も活用していく。						
注意点	前半では具体的な社会問題 (重たいテーマも含む) を取り上げ、後半では理論的な問題を中心に扱っていく。 オフィス・アワー (月曜 16:00～17:00)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ジェンダー概念		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。A3:1-3		
		2週	メディアとジェンダー		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。A3:1-3		
		3週	貧困・教育・開発とジェンダー		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。A3:1-3		
		4週	性と生殖に関する健康と権利		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。A3:1-3		
		5週	暴力とジェンダー		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。A3:1-3		
		6週	結婚とジェンダー		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。A3:1-3		
		7週	宗教とジェンダー		貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。A3:1-3		
		8週	グローバル化する人の移動		人の移動がグローバル化している現代の世界情勢について概観する。A3:1-3		
	2ndQ	9週	日本社会と移民		日本社会と移民との関係性を歴史的に考察する。A3:1-3		
		10週	「外国人労働者問題」 (1)		日本社会における「外国人労働者問題」について具体的な事例を通して学ぶ。A3:1-3		
		11週	「外国人労働者問題」 (2)		日本社会における「外国人労働者問題」について具体的な事例を通して学ぶ。A3:1-3		

		12週	「外国人労働者問題」（３）	日本社会における「外国人労働者問題」について具体的な事例を通して学ぶ。A3:1-3
		13週	「外国人労働者問題」（４）	日本社会における「外国人労働者問題」について具体的な事例を通して学ぶ。A3:1-3
		14週	移民と難民	「移民問題」と区別される「難民問題」に関して学ぶ。A3:1-3
		15週	まとめ	授業全体の総括をする
		16週	前期期末試験	内容の理解度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0